

放火による火災が発生しています!!

白河消防本部管内では平成30年1月～4月で放火による火災が2件発生しています。全国的にも放火による火災が多発しているため、放火火災の予防について注意を呼びかけています。



【どのような場所で放火が起こりやすいの？】

- 一般住宅：
 - ・家の外に出してある不要品、古新聞紙などに放火される。
 - ・郵便受けの新聞やチラシ類に放火される。
- 駐 車 場：
 - ・車両のボディカバーに放火される。
 - ・車庫の中の木材や可燃物に放火される。
- 空 家 等：
 - ・建物周辺に捨てられる生活用品やゴミ等に放火される。
 - ・空家の中に入り込んで放火される。

【なんで放火が起こるの？】

- 一般住宅：
 - ・ブロック塀等により、内部に侵入した人を隠してしまう。
 - ・建物の周囲に不要品や古材、ゴミなどが積んである。
- 駐 車 場：
 - ・屋内の駐車場は人目につきにくい。
 - ・ボディカバーは火を着けやすい。
- 空 家 等：
 - ・敷地内や建物内に出入りが自由にできる。
 - ・居住者がいない為、不審者に対する監視がしにくい。

【放火火災を防ぐためには？】

- 一般住宅：
 - ・家の周りには燃えやすいものを置かないようにする。
 - ・夜間用の照明機器を利用して家の周りは明るくする。
 - ・外出時や就寝するときは、門扉、窓、ドア等を必ず施錠する。
- 駐 車 場：
 - ・ボディカバーは防災物品を使用する。
 - ・常夜灯を設置して、駐車場内を明るくする。
- 空 家 等：
 - ・ドアや窓は施錠し、不審者が侵入しないようにする。
 - ・空家の持ち主は定期的に巡回を行う。



【一番大切なことは？】

「放火されない環境づくり」が大切です。
地域で積極的なコミュニケーションを図り、地域ぐるみ、街ぐるみで放火防止に取り組みましょう。